低コストで高品質生産！！

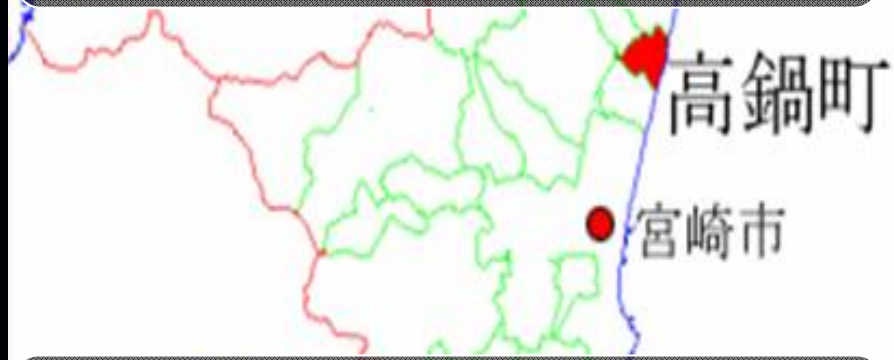
「地域資源活用型」肉用牛肥育経営

～飼料価格高騰に対応できるモデル的な取り組み～

宮崎県高鍋町　有限会社　藤原牧場

地域の概要

総土地面積	約4,400ha
うち耕地	34.6%
うち林野	19.3%
うち都市計画区域	45.0%
総世帯数	約9,000世帯
うち農家数	7.2%
総就業人口	約10,500人
うち第1次産業	12.4%
うち第2次産業	20.7%
うち第3次産業	66.9%

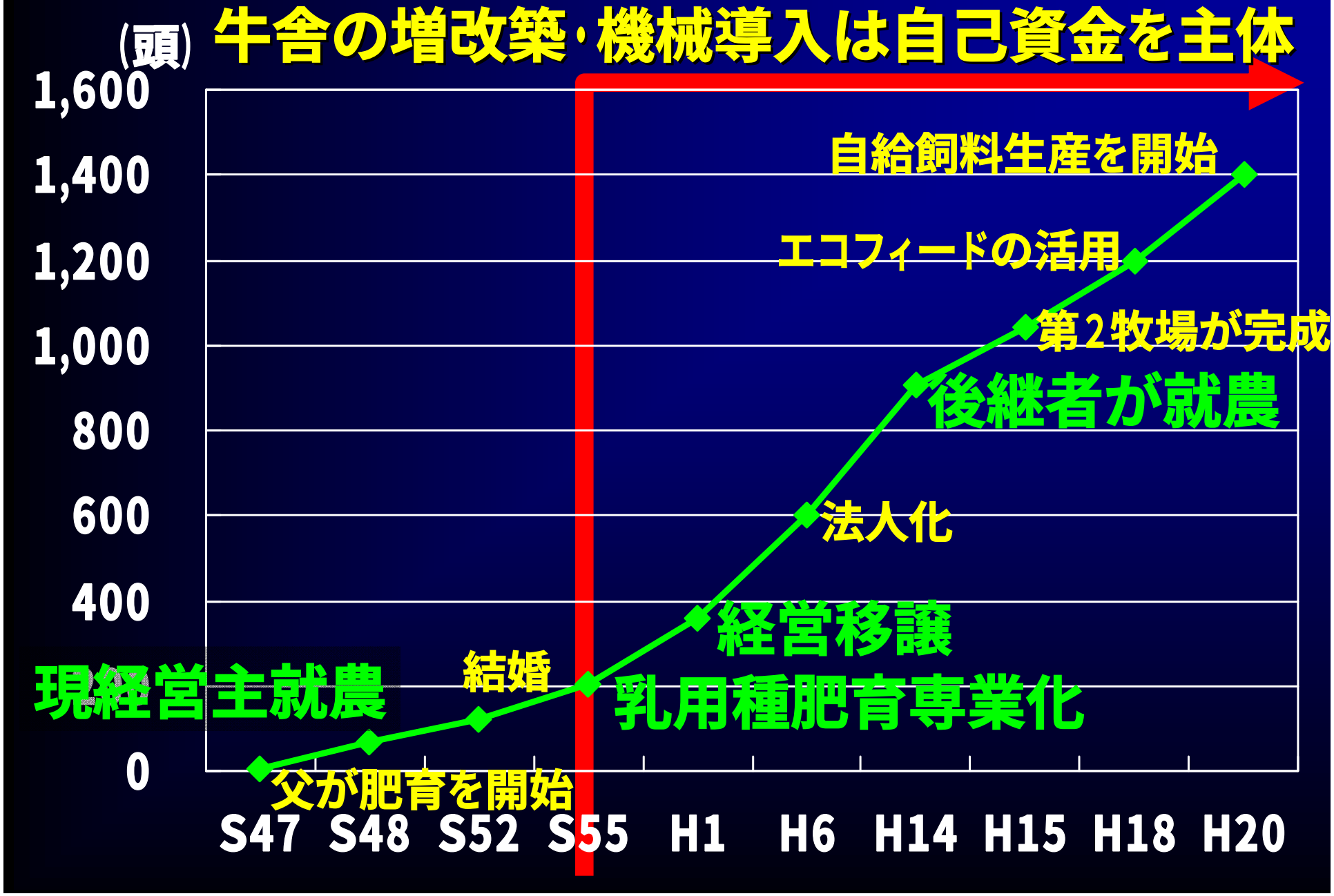


高鍋町の農業算出額上位10品（平成18年）

農作物	産出額（1,000万円）	構成比（%）
肉用牛	289	31.9
野菜	175	19.3
ブロイラー	134	14.8
養豚	82	9.0
鶏卵	60	6.6
米	44	4.9
いも類	30	3.3
工芸農作物	29	3.2
花き	27	3.0
酪農	10	1.1
合計	907	100

※　平成18年生産農業所得統計より引用

経営規模と経営形態の変遷



経営の概要

① 従事者数（6名）

構成員	従事日数	作業担当	備考
経営主	300	全般	昭和48年就農
後継者	300	全般	平成14年就農
従業員4名	280	全般	毎朝打合せで作業分担

② 飼養状況（平成18年9月から平成19年8月）

区分	交雑種	乳用種	黒毛和種	合計
平均	1,024.3	347.9	1.2	1,373.4
期首	989.0	324.0	0.0	1,313.0
期末	994.0	380.0	8.0	1,382.0
出荷	400.0	193.0	0.0	593.0
死亡・廃用	43.0	13.0	0.0	56.0

経営の概要

③　作業状況（平成18年9月から平成19年8月）

区分	実績値
常時飼養頭数	1,373.4頭
従事者数	6人
従事者１人当たり飼養頭数	228.9頭
総作業日数	1,720日
従事者１人当たり作業日数	287日
総作業時間	13,760時間
１日１人当たり作業時間	8時間
常時飼養頭数1頭当たり年間作業時間	10.0時間

経営の概要

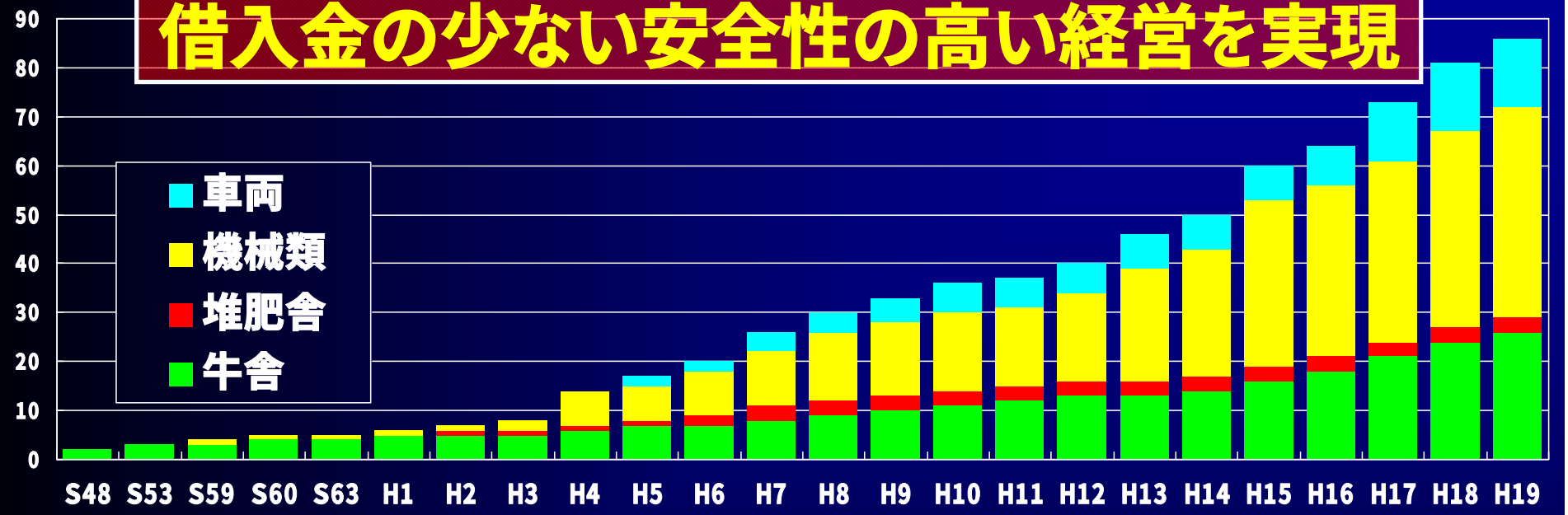
④　もと牛導入内訳（平成18年9月から平成19年8月）

品種	ヌレ子導入		子牛導入		計	
	頭数	割合	頭数	割合	頭数	割合
交雑種	354	50.0	84	11.9	438	61.9
乳用種	180	25.4	82	11.6	262	37.0
黒毛和種	0	0.0	8	1.1	8	1.1
計	534	75.4	174	24.6	708	100

※　割合は導入頭数合計708頭に対する割合を示す。

建物・機械類の保有状況（平成19年8月末）

自己資金主体の設備投資により、
借入金の少ない安全性の高い経営を実現



分類	保有数	取得価格	備考
牛舎	26	81百万円	自己資金
堆肥舎	3	7百万円	・自力施工主体
機械類	44	68百万円	自己資金
車両	13	13百万円	
合計	86	170百万円	自己資金での設備投資

昭和48年鶏舎を改造、現在でも牛舎として利用

ビニールハウスの廃材を利用し建設した牛舎

現在建設中の牛舎（自力施工）

堆肥舎（自力施工）

堆肥舎利用による堆積発酵（混合処理）

内容	割合	用途・利用先等	条件等	備考
販　　売	40%	耕種農家	完熟堆肥	運搬・散布請負
交　　換	10%	耕種農家	完熟堆肥	運搬・散布請負
無償譲渡	40%	耕種農家	生堆肥	運搬請負
自家利用	10%	自作地・戻し堆肥	完熟堆肥	運搬

哺乳ロボット（自己資金）

生産性の向上への取り組み①
地域資源を積極的に飼料として活用

もみ殻　稲わら　エコフィード

購入飼料費比較(全国先進事例：交雑種若齢肥育150頭以上規模)

期間	藤原牧場	全国先進事例
H16.9～H17.8	130,633	148,868
H17.9～H18.8	135,939	157,246
H18.9～H19.8	141,281	144,832
３カ年単純平均	135,951	150,315

地域資源を利用することで
全国先進事例と比較し飼養頭数1頭当たり
約15,000円のコスト低減を実現している。

自給飼料生産
実面積400a

自給飼料
ロールベールサイレージ

エコフィード（焼酎粕）の利用
(年間約100t)

飼料の自家配合

生産性の向上への取り組み②
事故率低減対策

地域に先駆けて換気扇を整備。
夏場の対策として屋根に**畜産波板の使用**と
細霧システムの設置（自作）、冬場の対策として
ヒーターを設置

結果、ヌレ子導入が全体の約75%占める経営体系でありながら、約3.0%前後の事故率で推移

「ハーブ牛」ブランドへの取り組み

県乳肥農協では平成１３年から「ハーブ牛」のブランド名で生産販売を開始

「宮崎ハーブ牛、宮崎ハーブ牛＜交雑種＞」とは「11種類の厳選したハーブ」と「ビタミンE」を強化した飼料で、「安全、安心」「美味」をコンセプトにした牛肉です。

宮崎県下３３戸の農場で生産されており、安全性への取組みも徹底。

牛肉トレーサビリティ法対応にも万全を期しております。

ガーリック

シナモン

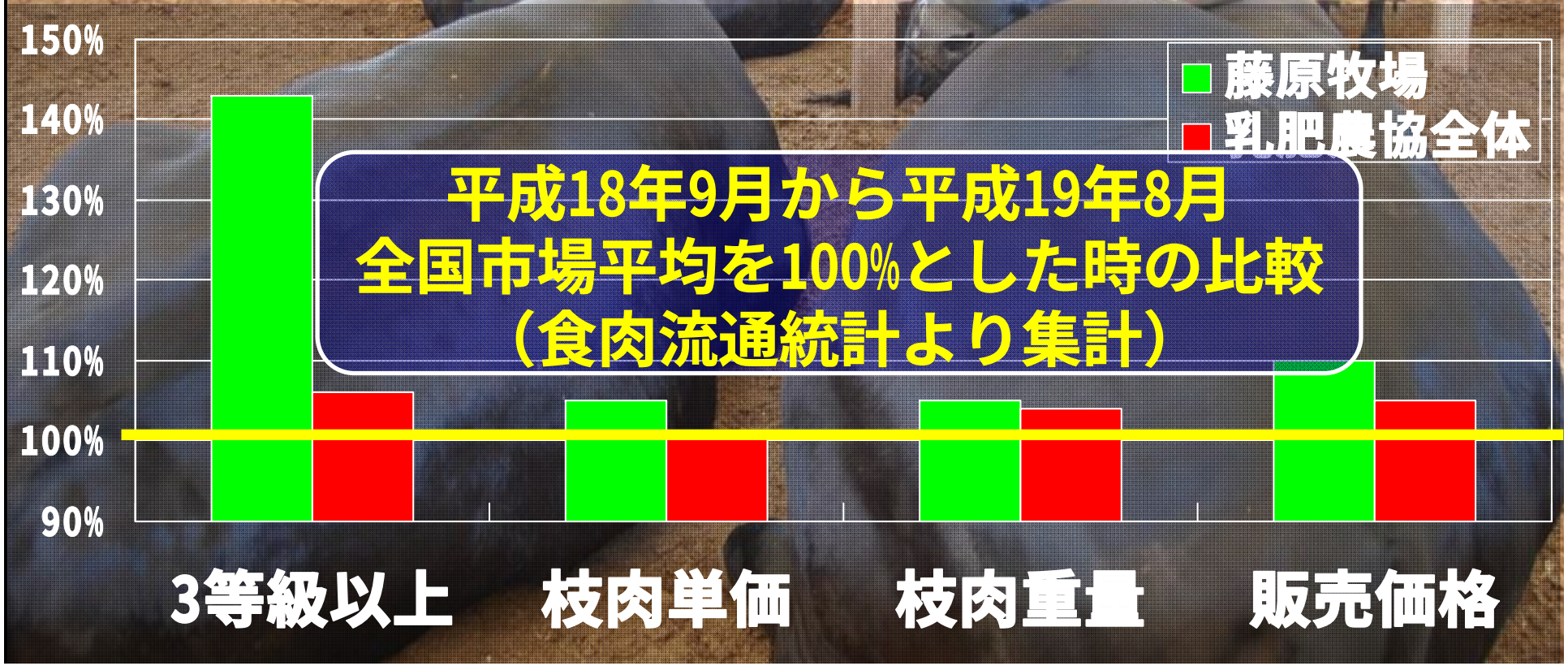
オレガノ

ローズマリー

ジンジャー

高水準の生産技術

全てにおいて高い水準を保つ。
特に肉質は、全国平均を大きく上回る。



平成18年9月から平成19年8月
全国市場平均を100%とした時の比較
（食肉流通統計より集計）

地域住民との積極的な交流

①同地区乳肥組合員3戸で、**イベント**（バーベキュー・子牛の体重当てコンテストなど）を企画し、**約100名が参加**

②**地域のリーダー**として、地元企業と連携した**地域振興祭りの推進役**を担う

③自作地（37a）に**ひまわりを作付け**し、**一般に公開**

④他にも高鍋町でキャンプを行う実業団野球部に牛肉を寄贈する等、**畜産での村興しを目指して積極的に活動**

藤原牧場で一般に公開するひまわり

成果のまとめ

安全性の高い経営
自己資金での規模拡大

規模拡大
安定した資金力・地域住民の理解

地域資源の飼料活用
エコフィード・自給飼料等

事故率の低減
暑熱・寒冷対策

高水準の肥育技術
徹底した飼養管理

今後も努力を惜しまず
一層のコスト削減と**おいしい牛肉の生産**を目指します

低コスト・高品質生産を実現！！

ご静聴ありがとうございました。
高鍋町の海岸で孵化し、海へ向かうアカウミガメの子ガメ